

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名 (桜川市文化協会助成事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (030201000622), 政策体系 (生涯学習・芸術文化活動の推進), 予算科目 (011005030100), and 事業期間 (単年度繰返し).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about cultural promotion and administrative procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and 3 main sections: ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), and ③意図 (成果指標). Includes data for activities like festivals and membership.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel costs (正規職員, 委託業務) for 27 and 28 fiscal years.

Table showing internal cost breakdown (事業費の内訳) for 27 and 28 fiscal years, including 19 負担金補助及び交付金 (700).

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28, 29, and 30 fiscal years' implementation content. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '未来PJ事業'.

事務事業名	桜川市文化協会助成事業	事務事業No.	30201000622	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 岩瀬・大和・真壁地区の文化協会が合併を機に桜川市文化協会を設立。市の芸術文化の向上、振興をはかるためにはじめた補助事業。市民文化祭を実施することで、支部間の交流会や、部門ごとの連携を行うようになった。平成28年度からは専門部ごとの活動となる。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 高齢化しているため、協会としての組織運営、庶務(事務)がむずかしく、事務局(行政担当)に協力、助言が必要。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市総合計画の政策に合致
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 規約をもつ団体として組織がきちんとしており、補助金を交付する条件(会員から負担金を徴収)を満たしている。文化行政施策、文化振興を支える貴重な組織である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 支部間の部門ごとの統一化、または連携をすることで文化内容の充実、文化振興をはかることができる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の文化行政を支え、施策、計画等の指針となる組織の一つである。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名   市民文化祭事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 市民文化祭実行委員会と連携ができる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 各支部の事業計画、予算に見合った補助金を計上している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員から負担金を徴収し、各団体の予算額にそって補助金を計上、交付している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・各支部の運営の自立化が進み、庶務ができるようになった。組織力を認識してもらう機会ができた。・部門交流や支部間の交流も行われ、文化振興の内容が深まった。・各支部の音楽関係団体が市民文化祭音楽祭の交流により、「市民音楽祭実行委員会」の立ち上げができた。芸能祭なども、横の連携がとれ文化の質が高めることができるきっかけとなる。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民文化祭の交流を通じて、音楽や芸能関係団体は、横の連携が取れるようになった。一方、いけばな展など、「高齢化」や「会場の地域性」を理由に依然として支部独自性を地元開催に固執する意識が見受けられる。意識や趣味の共有化、交流会など、統合または統一事業を展開できるよう、行政として指導助言を行っていく。平成28年度からの組織再編制に向け、会員の意識付けとして平成27年度の市民文化祭は、専門部ごとの開催を実施した。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ①																						
コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>